

ハイブリッドカメラ レシーバー

ユーザーガイド
ソフトウェアバージョン 1.1 以降

SNCA-ZX104

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

付属の設置説明書（印刷物）には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示してあります。
設置説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる
ところに必ず保管してください。

IPELA
sloc™

IPELA HYBRID

目次

はじめに

特長	3
このユーザーガイドの使いかた	4
必要なシステム構成	4

準備

本機に IP アドレスを割り当てる	5
SNC toolbox を使ってシステムに IP アドレスを 設定する	5
Windows XP Service Pack 2 以降をご利用の 場合	7
Windows Vista をご利用の場合	9
Windows 7 をご利用の場合	10
Web ブラウザからシステムにアクセスする	12

本機の設定

設定メニューの基本操作	14
ログインする	14
言語	15
設定メニューの構成	15
システムの情報を表示する — システムメニュー	15
システムタブ	15
初期化タブ	15
Serial PTZ 操作の設定を行う — シリアルメニュー	16
ネットワークを設定する — ネットワークメニュー	17
SSL 機能の設定を行う — SSL メニュー	18
設定タブ	18
ユーザー設定をする — ユーザーメニュー	20

その他

SNC toolbox を使う	21
SNC toolbox プログラムを起動する	21
SNC toolbox の使いかた	21
マイデバイスへ登録する	23
デバイス一覧の表示方法を変更する	24
SNC toolbox のオプションを設定する	24
ファームウェアアップグレードを使う	25
用語集	27
索引	28

特長

- ・ SNCA-ZX104 は IPELA HYBRID 対応のハイブリッド カメラレシーバーです。
- ・ 本機の SLOC 端子に接続された IPELA HYBRID 対応カメラは、本機の LAN ポートを通して外部のネットワークに接続されます。また、カメラからのコンポジットビデオ信号が本機の映像出力端子から出力されます。
- ・ 本機 1 台で 4 台の IPELA HYBRID 対応カメラとの接続が可能です。
- ・ 本機に接続されたキーボードから、IPELA HYBRID 対応カメラのパン・チルト・ズーム等を制御できます。
- ・ Serial PTZ 機能とは、RS-485 端子から入力された制御信号を TCP/IP パケットに変換して、ネットワークに送出する機能です。RS-485 端子には Pelco-D プロトコル対応のキーボードを接続してください。
- ・ 1 台の SNCA-ZX104 で 255 台までの Serial PTZ 機能に対応したカメラを登録することが可能です。

権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよびユーザーガイドの内容の全部または一部を複写すること、およびこのソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。

© 2012 Sony Corporation

ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねます。

万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります、ご了承ください。

- ・ “IPELA” および **IPELA** は、ソニー株式会社の商標です。
- ・ “IPELA HYBRID” および **IPELA HYBRID** は、ソニー株式会社の商標です。
- ・ Microsoft、Windows および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ slocTM は Intersil Corporation (インターチル株式会社) の商標です。
- ・ Adobe および Adobe Reader、Adobe Flash は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中で ®、™ マークは明記しておりません。

このユーザーガイドの使いかた

このユーザーガイドは、本機をコンピューターから操作する方法を説明しています。

このユーザーガイドは、コンピューターの画面上に表示して読まれることを想定して書かれています。

ここではユーザーガイドをご活用いただくために知っておいていただきたい内容を記載しています。操作の前にお読みください。

関連ページへのジャンプ

コンピューターの画面上でご覧になっている場合、関連ページが表示されている部分をクリックすると、その説明のページへジャンプします。関連ページが簡単に検索できます。

ソフトウェアの画面例について

このユーザーガイドに記載されているソフトウェアの画面は、説明のためのサンプルです。実際の画面とは異なることがあります、ご了承ください。

ユーザーガイドのプリントアウトについて

このユーザーガイドをプリントする場合、お使いのシステムによっては、画面やイラストの細部までを再現できないことがあります、ご了承ください。

設置説明書（印刷物）について

付属の設置説明書には、本機本体の各部の名称や基本的な設置・接続のしかたが記載されています。操作の前に必ずお読みください。

必要なシステム構成

本機にコンピューターからアクセスして操作する場合、以下の環境に対応しています。

(2012年8月現在)

OS

Windows XP Professional

Windows Vista Ultimate

Windows Vista Business

Windows 7 Ultimate

Windows 7 Professional

Windows 7以外は32ビット、Windows 7は32ビットと64ビットに対応しています。

Web ブラウザ

Microsoft Internet Explorer Ver. 6.0、Ver. 7.0、Ver. 8.0

準備

この章では、本機を設置・接続した後、Serial PTZ 機能の設定を行う前に管理者が行う準備について説明しています。

本機に IP アドレスを割り当てる

本機をネットワークに接続するためには、本機に新しい IP アドレスを割り当てる必要があります。初めて本機を設置したときは、本機に IP アドレスを割り当ててください。

付属の CD-ROM に収録されている SNC toolbox を使用することで IP アドレスを割り当てるることができます。(5 ページ)

操作の前に、付属の設置説明書の「接続」をご覧になって、本機を接続してください。

割り当てる IP アドレスについては、ネットワークの管理者にご相談ください。

ご注意

- お使いのコンピューターにパーソナルファイアウォールソフトウェアや、アンチウイルスソフトウェアなどを使用している場合、SNC toolbox が正しく動作しないことがあります。このような場合は、該当のソフトウェアを無効にしてください。
- Windows XP Service Pack 2 以降、Windows Vista、または Windows 7 をご利用の場合は、「Windows ファイアウォール機能」を「無効」にしないと SNC toolbox が正常に動作しません。設定のしかたは、「Windows XP Service Pack 2 以降をご利用の場合 - Windows ファイアウォールの設定について」(8 ページ)、「Windows Vista をご利用の場合 - Windows ファイアウォールの設定について」(9 ページ)、または「Windows 7 をご利用の場合 - Windows ファイアウォールの設定について」(11 ページ) をご覧ください。

SNC toolbox を使ってシステムに IP アドレスを設定する

- CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる。
表紙ページが自動的に Web ブラウザで表示されます。
Web ブラウザで自動的に表示されないときは、CD-ROM に入っている index.htm ファイルをダブルクリックしてください。

Windows Vista または Windows 7 をご利用の場合、CD-ROM を入れると「自動再生」のポップアップメッセージが表示されることがあります。詳しくは、「Windows Vista をご利用の場合 - ソフトウェアのインストールについて」(9 ページ)、または「Windows 7 をご利用の場合 - ソフトウェアのインストールについて」(10 ページ) をご覧ください。

- SNC toolbox の Setup アイコンをクリックする。
「ファイルのダウンロード」ダイアログが表示されます。

Windows XP Service Pack 2 以降、Windows Vista、または Windows 7 をご利用の場合、アクティブコンテンツについてのメッセージが表示されることがあります。詳しくは、「Windows XP Service Pack 2 以降をご利用の場合 - ソフトウェアのインストールについて」(7 ページ)、「Windows Vista をご利用の場合 - ソフトウェアのインストールについて」(9 ページ)、または「Windows 7 をご利用の場合 - ソフトウェアのインストールについて」(10 ページ) をご覧ください。

- [開く] をクリックする。

ご注意

「ファイルのダウンロード」ダイアログで「保存」をクリックすると、正常にインストールできません。
ダウンロードされたファイルを削除して、もう一度 Setup アイコンをクリックしてください。

- 画面に表示されるウィザードに従って「SNC toolbox」をインストールする。
使用許諾に関する文面が表示されたら、よくお読みいただき、同意の上、インストールを行ってください。

5 SNC toolbox を起動する。

Windows Vistaをご利用の場合、起動時に「ユーザー アカウント制御（認識できないプログラムがこのコンピュータへのアクセスを要求しています）」メッセージが表示されることがあります。この場合は、「許可」をクリックしてください。

6 [検索] をクリックする。

SNC toolbox がローカルネットワーク上に接続されている本機やカメラを検出してリスト表示します。

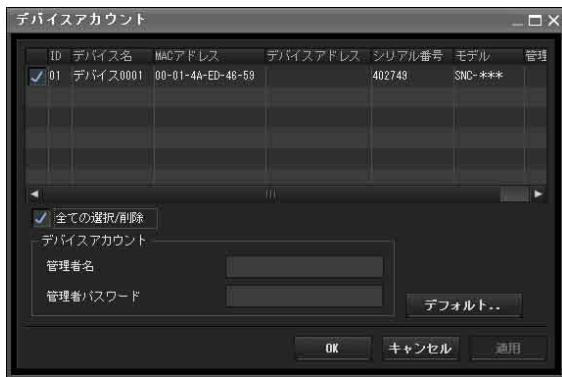


補足

工場出荷時の本機のネットワークは DHCP モードに設定されています。

7 リストから IP アドレスを割り当てる本機を選択して、[ネットワーク] をクリックする。

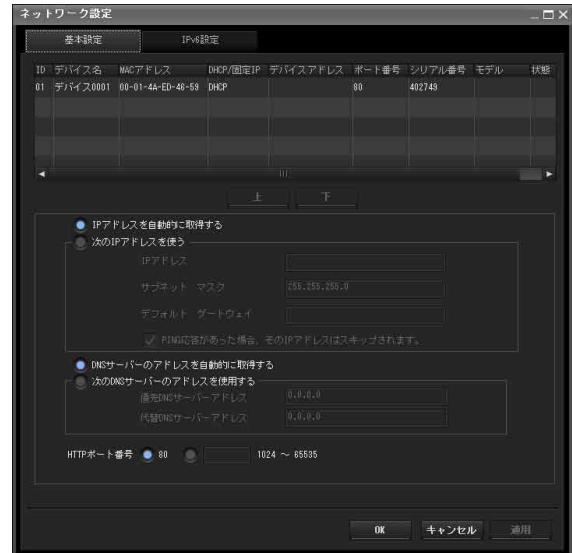
アカウント設定画面が表示されます。



8 ログインする管理者の名前とパスワードを入力し、[OK] をクリックする。

工場出荷時は両方とも「admin」に設定されています。

ネットワーク設定画面が表示されます。



9 IP アドレスを設定する。

IP アドレスを DHCP サーバーから自動的に取得するときは

[IP アドレスを自動的に取得する] を選択します。IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが自動的に割り当てられます。

ご注意

[IP アドレスを自動的に取得する] を選択する場合は、ネットワーク上で DHCP サーバーが稼動していることを確認してください。

固定 IP アドレスを設定するときは

[次の IP アドレスを使う] を選択し、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ欄にそれぞれの値を入力します。

10 HTTP ポート番号を設定する。

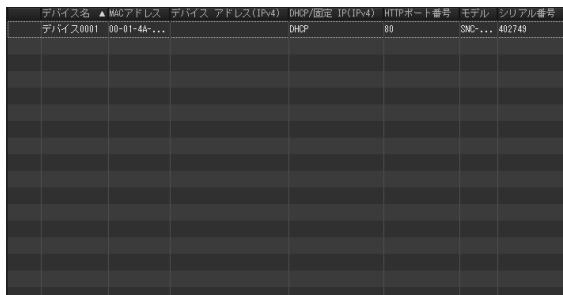
通常は、HTTP ポート番号の [80] を選択します。

[80] 以外のポート番号に設定するときは、テキストボックスを選択し、ポート番号 1024 ~ 65535 を入力します。

ご注意

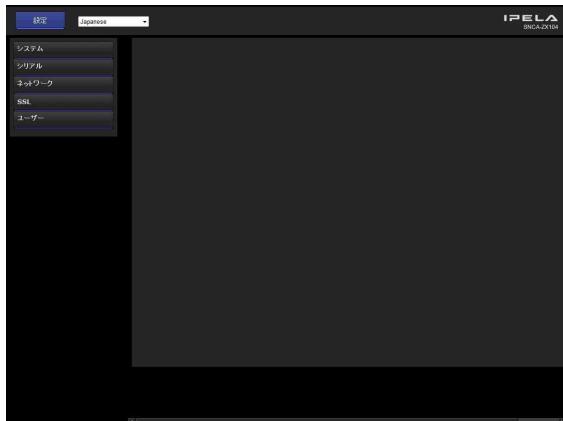
- 本機に対して、ポート番号 [80] 以外を指定する場合は、ネットワーク管理者にご確認ください。
- 本機に対して、DNS サーバーアドレスの設定項目が表示されますが、機能しません。

- 11** 正しく入力されていることを確認してから [OK] をクリックする。
 「Setting OK」が表示されれば、IP アドレスの設定は終了です。
- 12** 設定完了後、直接本機にアクセスするには、リスト上の本機名をダブルクリックする。



Web ブラウザに本機の設定画面が表示されます。

画面例



ご注意

IP アドレスが正しく設定されていないと、手順 12 の操作をしても設定画面が表示されません。この場合は IP アドレスの設定をやり直してください。

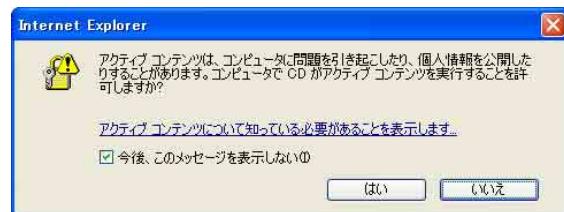
Windows XP Service Pack 2 以降をご利用の場合

ソフトウェアのインストールについて

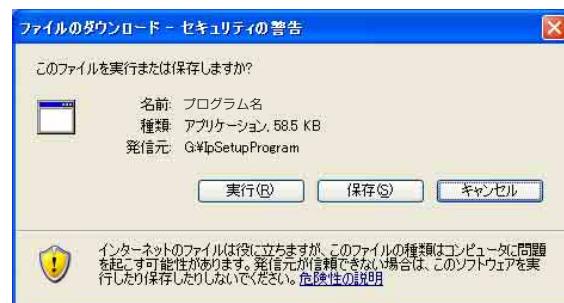
CD-ROM から SNC toolbox などのソフトウェアをインストールするとき、アクティブコンテンツの警告メッセージが表示されることがあります。次のように操作してください。

例：SNC toolbox の場合

「Internet Explorer」メッセージが表示された場合：[はい] をクリックする。



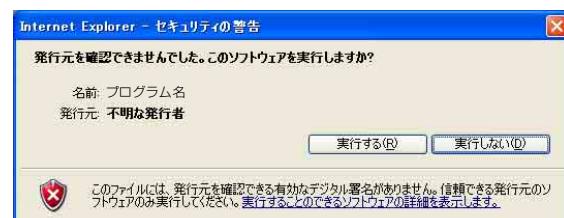
「ファイルのダウンロード - セキュリティの警告」メッセージが表示された場合：[実行] をクリックする。



ご注意

[保存] をクリックすると正常にインストールできません。ダウンロードされたファイルを削除して、もう一度 Setup アイコンをクリックしてください。

「Internet Explorer - セキュリティの警告」メッセージが表示された場合：[実行する] をクリックする。



これでソフトウェアがインストールされました。

Windows ファイアウォールの設定について

Windows ファイアウォールの設定によっては、SNC toolbox が正常に動作しない場合があります。(リスト上に本機が 1 台も検出されないように見えます。) この場合、次のように Windows ファイアウォールの設定を確認してください。

例：SNC toolbox の場合

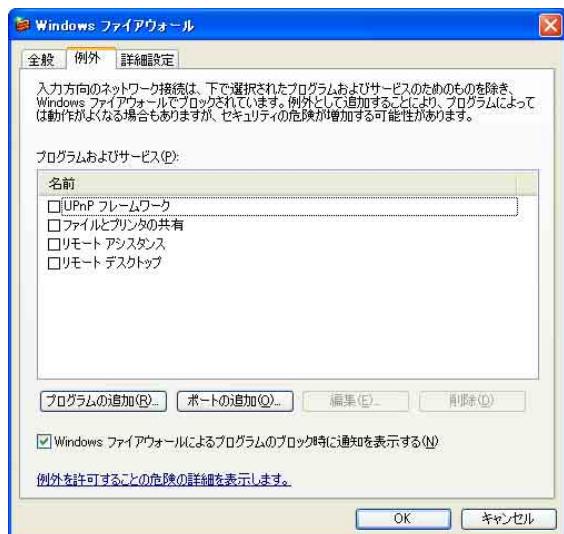
- 1 Windows の [スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択する。
- 2 作業する分野で [セキュリティセンター] を選択する。
- 3 「Windows ファイアウォール」画面で [無効] を選択する。



これでリスト上に本機が表示されるようになります。
[有効] のままご使用になりたい場合は、引き続き、次の設定を行ってください。

- 4 [例外] タブを選択する。

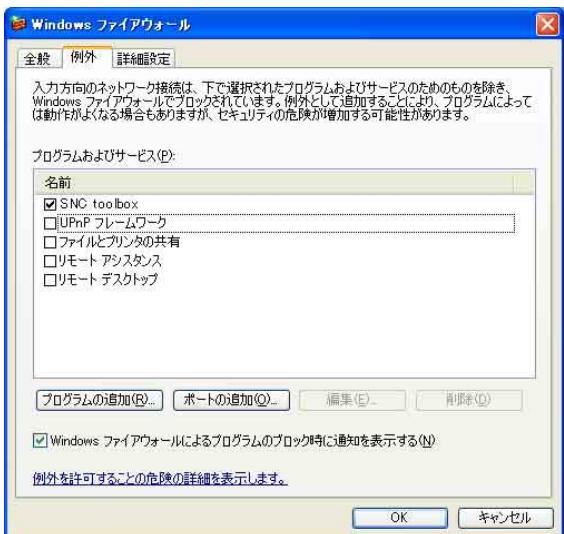
- 5 「プログラムの追加」を選択する。



- 6 プログラムの追加ダイアログが表示されたら、SNC toolbox を選択して [OK] をクリックする。

これで「プログラムおよびサービス」リストに、選択した SNC toolbox が追加されます。

- 7 [OK] をクリックする。



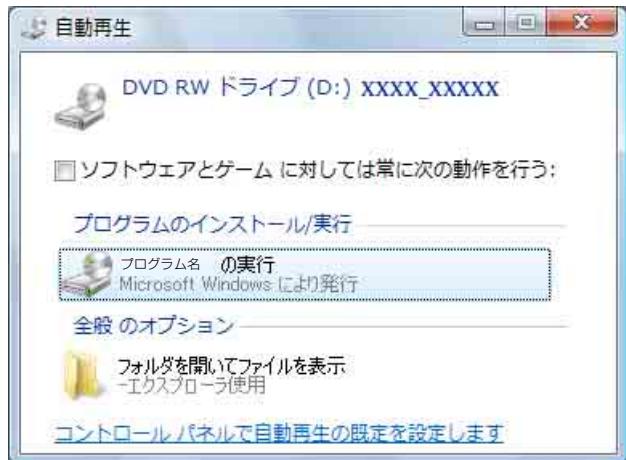
以上の設定が完了すると、SNC toolbox 上にローカルネットワーク上の本機が表示されます。

Windows Vista をご利用の場合

ソフトウェアのインストールについて

CD-ROM から SNC toolbox をインストールするとき、アクティブコンテンツの警告メッセージが表示されることがあります。次のように操作してください。

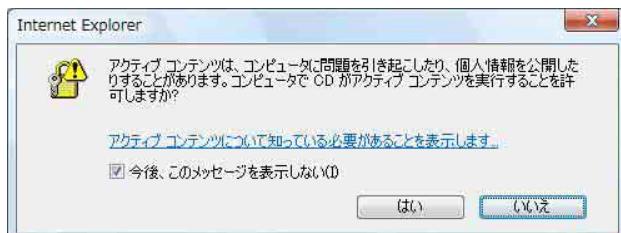
CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れたとき、「自動再生」のポップアップメッセージが表示された場合：「プログラムのインストール／実行」をクリックする。



ご注意

「フォルダを開いてファイルを表示」をクリックすると Web ブラウザが自動的に表示されません。CD-ROM に入っている「index.htm」ファイルをダブルクリックしてください。

「Internet Explorer」メッセージが表示された場合：[はい] をクリックする。



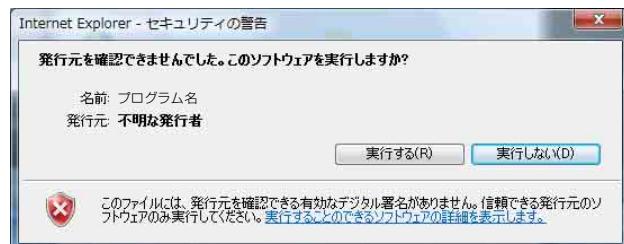
「ファイルのダウンロード - セキュリティの警告」メッセージが表示された場合：[実行] をクリックする。



ご注意

[保存] をクリックすると正常にインストールできません。ダウンロードされたファイルを削除して、もう一度 Setup アイコンをクリックしてください。

「Internet Explorer - セキュリティの警告」メッセージが表示された場合：[実行する] をクリックする。



「ユーザーアカウント制御（認識できないプログラムがこのコンピュータへのアクセスを要求しています）」メッセージが表示された場合：[許可] をクリックする。

これでソフトウェアをインストールできます。

ソフトウェアの起動について

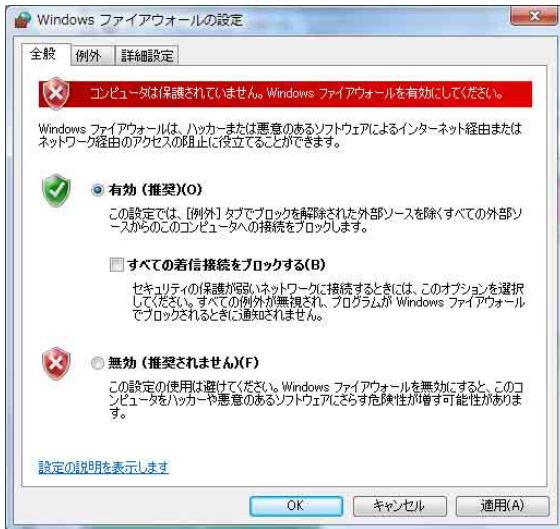
SNC toolbox を起動するとき、「ユーザーアカウント制御（認識できないプログラムがこのコンピュータへのアクセスを要求しています）」メッセージが表示されることがあります。この場合は、「許可」をクリックします。

Windows ファイアウォールの設定について

Windows ファイアウォールの設定によっては、SNC toolbox が正常に動作しない場合があります。（リスト上に本機が 1 台も検出されないように見えます。）この場合、次のように Windows ファイアウォールの設定を確認してください。

- 1 Windows の [スタート] メニューから [設定]、[コントロールパネル] を選択する。

- 2 [Windows ファイアウォール] をクリックする。
- 3 「Windows ファイアウォールの有効化または無効化」を選択する。
「ユーザー アカウント制御（続行するにはあなたの許可が必要です）」メッセージが表示されることがあります。この場合は、「続行」をクリックしてください。
- 4 [全般] タブで [無効] を選択する。



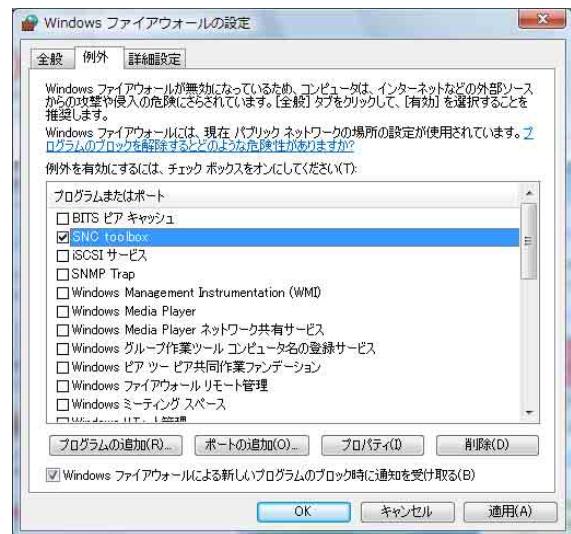
これでリスト上に本機が表示されるようになります。[有効] のままご使用になりたい場合は、引き続き、次の設定を行ってください。

- 5 [例外] タブを選択する。
- 6 [プログラムの追加] を選択する。
- 7 「プログラムの追加」ダイアログが表示されたら、SNC toolbox を選択して [OK] をクリックする。



これで「プログラムまたはポート」リストに、選択した SNC toolbox が追加されます。

- 8 「OK」をクリックする。



以上の設定が完了すると、SNC toolbox 上にローカルネットワーク上の本機が表示されます。

Windows 7をご利用の場合

ソフトウェアのインストールについて

CD-ROM から SNC toolbox をインストールするとき、アクティビコンテンツの警告メッセージが表示されることがあります。次のように操作してください。

CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れたとき、自動再生のポップアップメッセージが表示された場合：「メディアからのプログラムのインストール／実行」をクリックする。



ご注意

「フォルダを開いてファイルを表示」をクリックすると Web ブラウザが自動的に表示されません。CD-ROM に入っている「index.htm」ファイルをダブルクリックしてください。

「Internet Explorer」メッセージが表示された場合：[はい] をクリックする。



「ファイルのダウンロードーセキュリティの警告」メッセージが表示された場合：[実行] をクリックする。



ご注意

[保存] をクリックすると正常にインストールできません。ダウンロードされたファイルを削除して、もう一度 Setup アイコンをクリックしてください。

「ユーザー アカウント制御（次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？）」メッセージが表示された場合：[はい] をクリックする。

これでソフトウェアをインストールできます。

Windows ファイアウォールの設定について

Windows ファイアウォールの設定によっては、SNC toolbox が正常に動作しない場合があります。（リスト上に本機が 1 台も検出されないように見えます。）この場合、次のように Windows ファイアウォールの設定を確認してください。

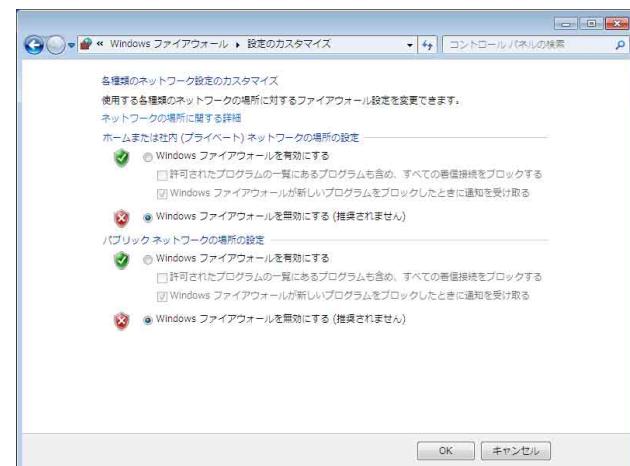
Windows ファイアウォールを無効にしてご使用になる場合

- 1 Windows の [スタート] メニューから [コントロールパネル]、[システムとセキュリティ] を選択する。
- 2 [Windows ファイアウォール] をクリックする。

3 [Windows ファイアウォールの有効化または無効化] をクリックする。



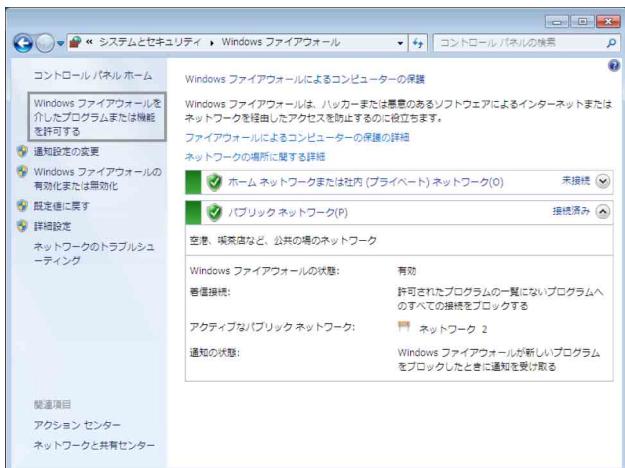
4 [Windows ファイアウォールを無効にする] を選択する。



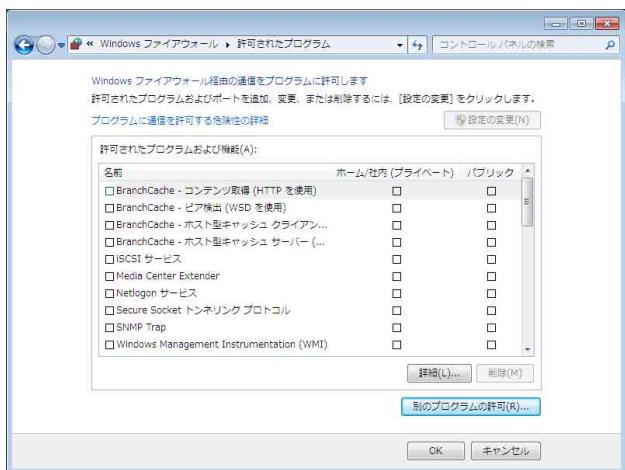
これでリスト上に本機が表示されます。

Windows ファイアウォールを有効のままで使用になる場合

- 1 Windows の [スタート] メニューから [コントロールパネル]、[システムとセキュリティ] を選択する。
- 2 [Windows ファイアウォール] をクリックする。
- 3 [Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する] をクリックする。



4 [別のプログラムの許可] を選択する。



5 プログラムを追加する。



以上の設定が完了すると、SNC toolbox 上にローカルネットワーク上の本機が表示されます。

Web ブラウザからシステムにアクセスする

本機に IP アドレスを割り当てたら、実際に Web ブラウザからシステムにアクセスできることを確認します。Web ブラウザには、Internet Explorer をお使いください。

- 1 コンピューターで Web ブラウザを起動し、本機の IP アドレスをアドレス欄に入力する。



ログイン画面が表示されます。

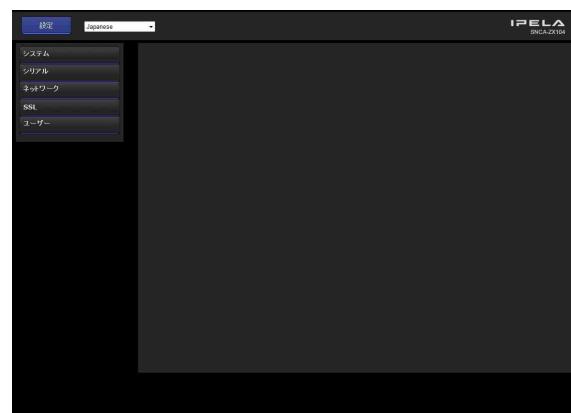


- 2 管理者のユーザー名とパスワードを入力する。

設定画面が表示されます。

管理者のユーザー名とパスワードは工場出荷時には [admin] が設定されています。

画面例



SSL 機能をご利用の場合

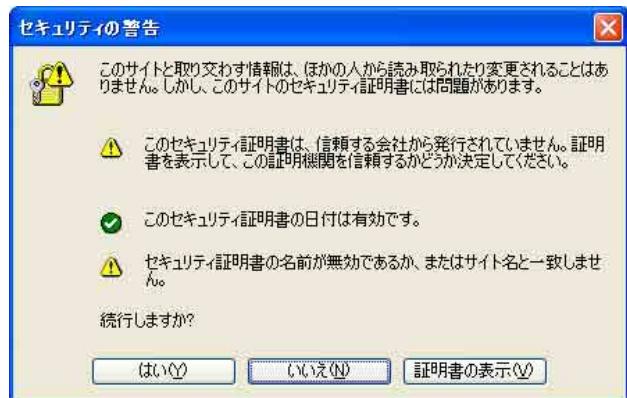
ご注意

中国向けに販売されているモデルには SSL 機能は搭載されておりません。

Internet Explorer 6 をご利用の場合

本機の IP アドレスを入力したとき、設定されている証明書の状態によって、「セキュリティの警告」ダイアログが表示されることがあります。この場合 [はい] をクリックして続行します。

設定画面（SSL 通信時）が表示されます。

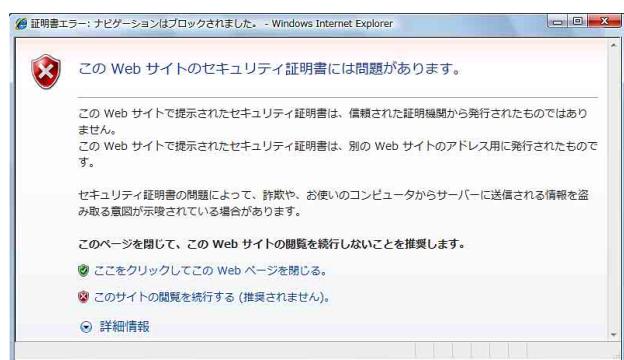


Internet Explorer 7 または Internet Explorer 8 をご利用の場合

本機の IP アドレスを入力したとき、本機に設定されている証明書の状態によって「証明書エラー」が表示されることがあります。

この場合は [このサイトの閲覧を続行する（推奨されません）。] をクリックして続行します。

設定画面（SSL 通信時）が表示されます。



[同時に HTTP 接続を許可]（18 ページ）をチェックしている場合

HTTP および SSL 接続それぞれを使い分けてアクセスしたいときは、ブラウザのアドレス欄に次のように入力してください。

HTTP 接続を行う場合

アドレス(D) http://192.168.0.100/ja/index.html

SSL 接続を行う場合

アドレス(D) https://192.168.0.100/ja/index.html

設定画面を正しく表示させるには

設定画面を正しく動作させるためには、以下の手順で Internet Explorer のセキュリティレベルを [中] 以下に設定してください。

- 1 Internet Explorer のメニューバーから [ツール] — [インターネットオプション] — [セキュリティ] タブの順に選択する。
- 2 [インターネット] アイコン（本機をインターネット環境で使用しているとき）、または [インターネット] アイコン（本機をインターネット環境で使用しているとき）をクリックする。
- 3 レベルバーを操作して [中] 以下にする。（レベルバーが表示されていない場合は、[既定のレベル] ボタンをクリックしてからレベルバーを操作してください。）

コンピューターでウィルス対策ソフトウェアなどを使いの場合

- ・本機にアクセスしたときに表示される Web ページは JavaScript を使用しています。ご使用になるコンピューターで上記のウィルス対策ソフトウェアなどを使いの場合には、Web ページが正しく表示されない場合があります。

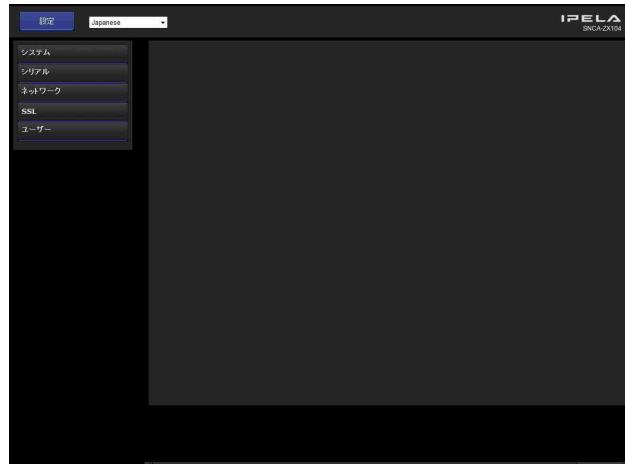
本機の設定

この章では、本機の機能の設定について説明します。
Web ブラウザには Internet Explorer をお使いください。

この章では、はじめに設定メニューの設定の際の基本操作を説明し、その後、メニューの設定項目をひとつずつ説明します。

設定項目の表示について

本機の設定メニューは、設定可能な設定項目のみが濃く表示されます。薄く（グレーアウト）表示されている項目は設定できません。



設定メニューの基本操作

ログインする

- 1 コンピューターで Web ブラウザを起動し、本機の IP アドレスをアドレス欄に入力する。



ログイン画面が表示されます。



- 2 管理者のユーザー名とパスワードを入力する。
設定画面が表示されます。
管理者のユーザー名とパスワードは工場出荷時には [admin] が設定されています。

ご注意

設定画面が正しく動作しないときは、Internet Explorer のセキュリティレベルが「中」より高くなっている可能性があります。「設定画面を正しく表示させるには」(13 ページ) をご覧になって、セキュリティレベルを確認してください。

補足

本ソフトウェアの各ページは、Internet Explorer の表示文字サイズ「中」で最適に表示されます。

- 3 設定メニューの左側のメニュー名（例：ユーザー）をクリックする。
クリックしたメニューが表示されます。

例：「ユーザー」メニュー



各メニューのタブと設定項目について詳しくは、15 ~ 20 ページをご覧ください。

- 4 設定が終わったら、[OK] をクリックする。
設定した内容が有効になります。

設定した内容を無効にして元の状態に戻すときは、[Cancel] をクリックします。

各メニューの共通ボタン

メニューには、必要に応じて以下の共通ボタンが表示されます。ボタンの機能は、どのメニューでも同じです。



設定した内容を有効にするとき、クリックします。

Cancel

設定した内容を無効にして、元の状態に戻すときクリックします。

メニュー全般についてのご注意

- ・ユーザー名など、コンピューターから入力する文字に、半角カタカナは使用できません。
- ・メニューで設定を変更し、すぐに電源を切る場合は、10秒以上経過してから本機の電源を切ってください。すぐに電源を切ると、変更した設定内容が保存されない場合があります。

言語

プルダウンにより使用する言語を設定します。

設定メニューの構成



システム

システムメニューを表示します。(「システムの情報を表示する — システムメニュー」15 ページ)

シリアル

Serial PTZ 操作に関する設定を行うシリアルメニューを表示します。(「Serial PTZ 操作の設定を行う — シリアルメニュー」16 ページ)

ネットワーク

ネットワーク接続のための設定を行うネットワークメニューを表示します。(「ネットワークを設定する — ネットワークメニュー」17 ページ)

SSL

クライアント機器と本機間で SSL 通信を行うための SSL メニューを表示します。(「SSL 機能の設定を行う — SSL メニュー」18 ページ))

ユーザー

ログインするときのユーザー名やパスワードの設定を行うユーザーメニューを表示します。(「ユーザー設定をする — ユーザーメニュー」20 ページ)

システムの情報を表示する — システムメニュー

設定メニューの **システム** をクリックすると、システムメニューが表示されます。

システムタブ



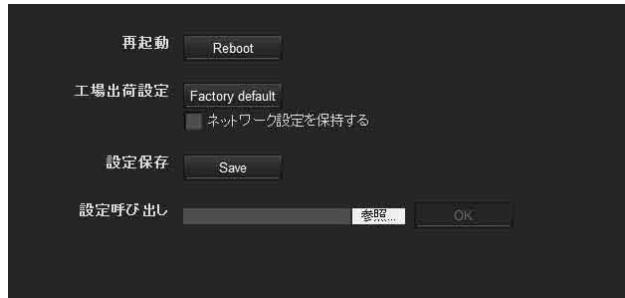
シリアル番号

シリアル番号が表示されます。

ソフトウェアバージョン

ソフトウェアのバージョンが表示されます。

初期化タブ



再起動

強制的にシステムを再起動するときに使います。

[Reboot] をクリックすると、「強制的にシステムを再起動します。よろしいですか?」と表示されます。[OK] をクリックすると本機が再起動します。再起動には約 2 分かかります。

工場出荷設定

本機を出荷時の設定に戻すときに使います。

ネットワーク設定を保持する

この項目にチェックすると、工場出荷設定に戻すときに、ネットワーク設定だけは現状の設定を保持することができます。

[Factory default] をクリックすると、「システムを出荷時の設定に戻すために強制的に再起動します。よろしいですか？」と表示されます。

[OK] をクリックすると、本機のネットワークインジケーターが点滅し始めます。工場出荷時の設定が終了すると、本機が自動的に再起動します。本機が再起動するまでは本機の電源を切らないでください。

補足

本機本体のリセットスイッチを押しながら本体の電源を入れても出荷時の設定に戻すことができます。詳しくは、付属の設置説明書をご覧ください。

設定保存

本機の設定情報をファイルに保存するときに使います。[Save] をクリックし、Web ブラウザの指示に従ってフォルダーを指定して本機の設定情報を保存することができます。

保存ファイル名称の初期値は、「snca-zx104.cfg」です。

設定呼び出し

保存されている本機の設定情報を呼び出すときに使います。

[参照...] をクリックして、保存されている本機設定情報を選択します。[OK] をクリックすると、選択されたファイルに従って本機が設定され、再起動します。

ご注意

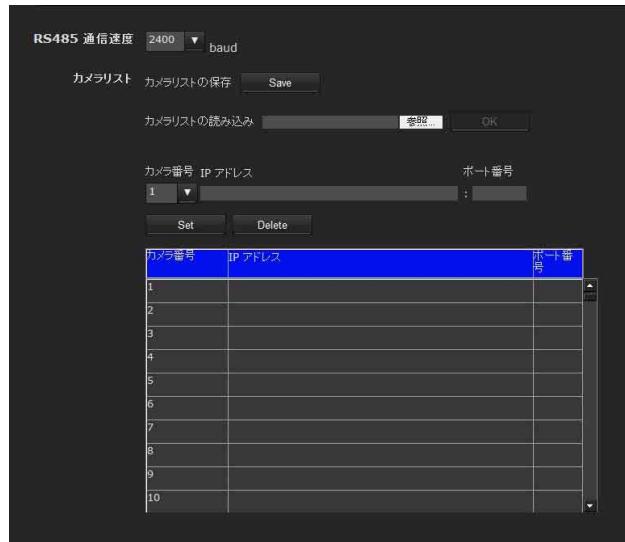
「設定呼び出し」ではネットワークメニュー（17 ページ）の一部の設定は反映されません。

Serial PTZ 操作の設定を行う —シリアルメニュー—

設定メニューの **シリアル** をクリックすると、シリアルメニューが表示されます。

このメニューでは、アナログカメラを制御するための Pelco-D プロトコルコマンドを RS-485 ポートで受信して、ネットワーク経由でコマンドをカメラに送出するための設定を行います。

システムに接続した機器に合わせて設定してください。



RS485 通信速度

[1200]、[2400]、[4800]、[9600] から選択します。

カメラリスト

RS-485 ポートで受信したコマンドに含まれるカメラ番号を該当するカメラの IP アドレスとポート番号に変換するためのリストです。

カメラリストの保存

本機のカメラリストをファイルに保存するときに使います。

[Save] をクリックし、Web ブラウザの指示に従ってフォルダーを指定して本機のカメラリストを保存することができます。

カメラリストの読み込み

保存しておいた本機のカメラリストを本機に読み込むときに使います。

[参照...] をクリックして、保存されている本機カメラリストを選択します。[OK] をクリックすると、選択され

たファイルが読み込まれて、カメラリストが更新されます。

ご注意

[参照…] の隣の [OK] をクリックすると、カメラリストは直ちに更新されます。画面下の [OK] ボタンをクリックする必要はありません。

カメラリストを編集するには

カメラリストの番号を指定し、IP アドレス、ポート番号を番号ごとに設定します。

カメラ番号：カメラ番号を 1 から 255 より選択します。

IP アドレス：選択したカメラ番号の IP アドレスが表示されます。クリックして数値を入力します。

ポート番号：選択したカメラ番号のポート番号が表示されます。クリックして数値を入力します。

Set：クリックすると、入力した IP アドレスとポート番号の値に問題がなければ、選択したカメラ番号にその値が設定されます。

Delete：クリックすると、選択したカメラ番号の IP アドレスとポート番号の設定を削除します。

ご注意

編集内容は、[Set] をクリックするとカメラリストの該当行にすぐに反映されますが、画面下の [OK] ボタンをクリックするまでは設定は保存されません。

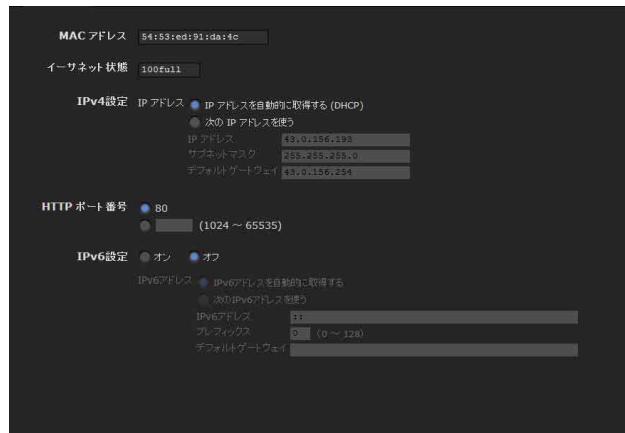
OK/Cancel

「各メニューの共通ボタン」(14 ページ) をご覧ください。

ネットワークを設定する — ネットワークメニュー —

設定メニューの **ネットワーク** をクリックすると、ネットワークメニューが表示されます。

このメニューでは本機とコンピューターを接続するためにネットワーク設定を行います。



MAC アドレス

システムの MAC アドレスを表示します。

イーサネット状態

現在の通信速度を表示します。

IPv4 設定

IPv4 のネットワーク設定をします。

IP アドレス

IP アドレスの設定を行います。

[IP アドレスを自動的に取得する (DHCP)]：ネットワークに DHCP サーバーが設置されており、IP アドレスが DHCP サーバーから割り振られる環境の場合に選択します。IP アドレスが自動的に割り当てられます。

[次の IP アドレスを使う]：固定 IP アドレスを設定する場合に選択します。[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] をそれぞれ入力します。

ご注意

[IP アドレスを自動的に取得する (DHCP)] に設定する場合は、ネットワーク上で DHCP サーバーが稼動していることを確認してください。

IP アドレス

システムの IP アドレスを入力します。

サブネットマスク

サブネットマスク値を入力します。

デフォルトゲートウェイ

デフォルトゲートウェイを入力します。

HTTP ポート番号

通常は [80] を選択します。[80] 以外のポート番号に設定するときは、テキストボックスを選択し、ポート番号 1024 ~ 65535 を入力します。

ご注意

ネットワークメニュー や SNC toolbox で HTTP ポート番号を [80] 以外のポート番号に設定したときは、Web ブラウザのアドレス欄に以下のように入力してシステムにアクセスし直してください。

例：IP アドレスが 192.168.0.100 のときにポート番号 8000 番を設定した場合

アドレス(D)

IPv6 設定

IPv6 のネットワーク設定をします。

IPv6 は IPv4 と同時に使用することができます。ここでは、IPv4 と異なる項目だけを説明します。他の項目については、「IPv4 設定」(17 ページ) をご覧ください。

オン／オフ

IPv6 を使用するときは、[オン] にしてください。

プレフィックス

プレフィックスの値を入力します。(0 ~ 128)

OK/Cancel

「各メニューの共通ボタン」(14 ページ) をご覧ください。

SSL 機能の設定を行う — SSL メニュー

設定メニューの **SSL** をクリックすると SSL メニューが表示されます。このメニューでは SSL または TLS 機能に関する設定を行います（これ以降 SSL または TLS 機能のことを単に SSL と呼びます）。この設定を行うことで、クライアント機器と本機間で SSL 通信を行うことができます。

ご注意

中国向けに販売されているモデルには SSL 機能は搭載されておりません。

設定タブ



SSL 機能

[オン] : SSL 機能を使用する場合に選択します。[同時に HTTP 接続を許可] が選択されている場合は、SSL 接続と同時に HTTP 接続を行うことができます。[同時に HTTP 接続を許可] が選択されていない場合は、SSL 接続のみが許可されます。

Microsoft Internet Explorer Ver.6 をご利用の場合

SSL 通信を行っている場合は、ブラウザのステータスバーに のマークが表示されます。

Microsoft Internet Explorer Ver.7 または、Internet Explorer Ver.8 をご利用の場合

安全に SSL 通信を行っている場合は、ブラウザのアドレスバーの右側に のマークが表示されます。

[オフ] : SSL 機能を使用しない場合に選択します。この場合、本機への接続は HTTP 接続のみとなります。

SSL 接続をはじめて行う場合は

SSL 機能を「オン」に設定して SSL 接続のみを行う場合、SSL 機能が適切に動作しないと、本機にアクセスすることができなくなります。

この場合、本機を工場出荷時の設定に戻す必要があります。(すべての設定内容が初期化されます。)

これらを避けるため、はじめに SSL 接続が可能なことを、次の手順で確認してください。

- 1** SSL 機能を「オン」に設定し、「同時に HTTP 接続を許可」を選択する。
- 2** [OK] ボタンを押し、設定画面を閉じる。
- 3** SSL 接続で設定画面を表示する。
接続のしかたは「SSL 機能をご利用の場合」(13 ページ)をご覧ください。
- 4** SSL 接続が可能なことを確認してから、手順 1 で選択した「同時に HTTP 接続を許可」の選択をはずす。

確認の途中で SSL 接続ができずに設定画面やブラウザを閉じてしまっても、「同時に HTTP 接続を許可」を選択しているので、HTTP 接続が可能です。HTTP 接続で設定タブの設定内容を確認してから、もう一度 SSL 接続を確認してください。

「同時に HTTP 接続を許可」を選択していない場合、SSL 接続ができなくなると、本機にアクセスすることもできなくなります。この場合は、本機本体のリセットスイッチを押しながら本体の電源を入れて工場出荷時の設定に戻してください。詳しくは、付属の設置説明書をご覧ください。

ご注意

- ・ SSL 機能が「オン」に設定されていても、証明書と秘密鍵パスワードが適切に設定されていない場合には SSL 機能は動作しません。
- ・ 本機にインストールする証明書の種類によっては、SSL 接続できないことがあります。

証明書

証明書のインポート、内容表示、削除を行います。

証明書をインポートするには

[参照...] をクリックして、証明書を選択します。
[Submit] をクリックすると、選択されたファイルが本機にインポートされます。

ご注意

証明書以外のファイルが選択された場合や、許可されていない形式の証明書がインポートされた場合はインポート処理が無効となります。サポートされる証明書形式は PKCS#12 形式または PEM 形式です。

証明書の内容表示をするには

証明書が本機に正しく設定されると、「証明書のステータス」、「発行者識別名」、「サブジェクト識別名」、「有効期間」、「拡張キー使用法」に情報が表示されます。

証明書のステータス

証明書の有効／無効に関する情報を表示します。ステータスには以下の種類があります。

[有効]：証明書が正しく保存・設定されています。

[無効]：証明書が正しく保存・設定されていません。

無効になった場合は、以下の原因が考えられます。

- 証明書に含まれる秘密鍵情報のパスワードが正しく設定されていない
- 証明書に含まれる秘密鍵情報が暗号化されていないのに、秘密鍵パスワードが設定されている
- 証明書に含まれるはずの秘密鍵情報が含まれていない

ご注意

インポートする証明書が PKCS#12 形式の場合には、秘密鍵パスワードを正しく設定しないと「発行者識別名」、「サブジェクト識別名」、「有効期間」、「拡張キー使用法」の欄に“<Put correct private key password>”と表示されます。

正しい秘密鍵パスワードを設定しないと証明書情報は確認できません。

インポートした証明書を削除するには

[Delete] をクリックすると、本機にインポートした証明書を削除します。

秘密鍵パスワード

証明書に含まれる秘密鍵情報のパスワードを半角 50 文字以内で設定します。

証明書に含まれる秘密鍵情報が暗号化されていない場合には本項目は空欄にしてください。

秘密鍵パスワードが本機に設定されていない場合は、入力可能なテキストフィールドが表示され、秘密鍵パスワードをそのまま入力することができます。

秘密鍵パスワードが設定されている場合には、入力不可のテキストフィールドとして表示されます。

Reset

すでに設定した秘密鍵パスワードを変更したい場合、このボタンをクリックすると、現在のパスワードがクリアされ、新しいパスワードの入力が可能になります。

ご注意

[Reset] をクリックした後で秘密鍵パスワードの変更を中止する場合は、画面下部の〔キャンセル〕をクリックしてください。この場合、設定タブの他の設定項目についても変更前の状態に戻ります。

OK/Cancel

「各メニューの共通ボタン」(14 ページ) をご覧ください。

ご注意

SSL の設定変更をして [OK] をクリックしたときは、設定画面を一度閉じてください。

ユーザー設定をする — ユーザーメニュー

設定メニューの **ユーザー** をクリックすると、ユーザーメニューが表示されます。

このメニューでは、管理者のユーザー名とパスワードが設定できます。



管理者

[ユーザー名]、[パスワード]、[パスワードの確認] を設定します。

ユーザー名

ユーザー名を 5 ~ 16 文字の半角英数字で入力します。

パスワード

パスワードを 5 ~ 16 文字の半角英数字で入力します。

パスワードの確認

パスワードの確認のために、パスワード欄に入力した文字と同じ文字を再入力します。

OK/Cancel

「各メニューの共通ボタン」(14 ページ) をご覧ください。

その他

この章では、付属の CD-ROM に収録されているアプリケーションソフトウェアの使いかたを説明します。

SNC toolbox を使う

ここでは、SNC toolbox のネットワーク以外の機能を説明します。

SNC toolbox のインストールおよび本機への IP アドレスの割り当て、ネットワーク設定のしかたは、「準備」の（「本機に IP アドレスを割り当てる」5 ページ）をご覧ください。

ご注意

- お使いのコンピューターにパーソナルファイアウォール ソフトウェアや、アンチウイルスソフトウェアなどを使用している場合、SNC toolbox が正しく動作しないことがあります。このような場合は、該当のソフトウェアを無効にしてください。
- Windows XP Service Pack 2 以降、Windows Vista、または Windows 7 をご利用の場合は、「Windows ファイアウォール機能」を「無効」にしないと SNC toolbox が正常に動作しません。設定のしかたは、「Windows XP Service Pack 2 以降をご利用の場合 - Windows ファイアウォールの設定について」(8 ページ)、「Windows Vista をご利用の場合 - Windows ファイアウォールの設定について」(9 ページ)、または「Windows 7 をご利用の場合 - Windows ファイアウォールの設定について」(11 ページ) をご覧ください。
- 中国向けに販売されているモデルには SSL 機能は搭載されていません。

SNC toolbox プログラムを起動する

Windows の [スタート] メニューから [すべてのプログラム]、[SNC toolbox]、[SNC toolbox] の順に選択します。

SNC toolbox が起動します。

メイン画面が表示され、SNC toolbox がローカルネットワーク上に接続されている本機やカメラを検出してリストを表示します。

Windows Vista をご利用の場合、起動時に「ユーザー アカウント制御（認識できないプログラムがこのコンピュータへのアクセスを要求しています）」メッセージが表示さ

れることがあります。この場合は、「許可」をクリックしてください。

SNC toolbox の使いかた



メニューバー

すべての機能がここから選択できます。

ファイル (F) メニュー

閉じる : SNC toolbox を終了します。

編集 (E) メニュー

全て選択 : デバイスリスト内のデバイスをすべて選択します。

表示 (V) メニュー

ステータスバー : 下部のステータス表示／非表示を切り替えます。

カラムの設定 : リストに表示する項目を設定する画面を表示します。

ツール (T) メニュー

検索 : デバイスの再検索を行います。

デバイスアカウント : デバイスのユーザー名とパスワード管理の画面を表示します。

ネットワーク設定 : デバイスのアドレス設定変更の画面を表示します。

カスタムホームページ : カスタムホームページ画面を表示します。

ご注意

カスタムホームページの設定は本機でご使用いただくことはできません。

ファームウェアアップグレード : ファームウェア アップグレード画面を表示します。

デバイスのホームページ：デバイスに接続します。
ツールログ：SNC toolbox のログを取得します。
オプション：SNC toolbox の設定変更の画面を表示します。

ヘルプ (H) メニュー

バージョン：SNC toolbox のバージョン情報を表示します。

ファンクションボタン

リストを更新したりダイアログを表示させたりするときに使います。



検索結果のデバイスリストを更新します。



デバイスごとに管理者ユーザーを設定します。



[ネットワーク設定] ダイアログを表示します。



[カスタムホームページ] ダイアログを表示します。



[アップグレード] デバイスのファームウェアを更新します。

ご注意

カスタムホームページの設定は本機でご使用いただくことはできません。

デバイツツリー表示

フォルダーのカスタマイズをすることができます。また、マイデバイスの登録状況をツリー形式で表示することができます。

検索結果フォルダー

このフォルダーを選択すると、デバイスリストに、起動時または [検索] によって検索された同一セグメント内のデバイスが表示されます。

エラーフォルダー

このフォルダーを選択すると、デバイスリストに、マイデバイスフォルダーに登録したデバイスに接続できない時に、接続できないデバイスが表示されます。

また、登録しているデバイスがネットワーク上で見つからなかった場合にこのフォルダーに登録されます。

マイデバイスフォルダー

このフォルダーを選択すると、デバイスリストに、検索結果フォルダーまたは手動により登録されたデバイスが表示されます。

デバイスリスト

デバイツツリー表示で選択したフォルダーに登録されたデバイスが一覧表示されます。

デバイス名

個別に設定したデバイスの名称を表示します。

状態 (エラー、マイデバイスフォルダーのみ)

現在の接続状況が確認できます。

MAC アドレス

デバイスの MAC アドレスが確認できます。

デバイスアドレス

デバイスの IP アドレスが確認できます。

HTTP ポート番号

デバイスのポート番号が確認できます。

DHCP/ 固定 IP

デバイスの IP アドレスが DHCP と固定 IP のどちらなのかを表示します。

モデル名

機種名を表示します。

シリアル

シリアル番号を表示します。

バージョン番号

ファームウェアのバージョンを表示します。

管理者名

管理者ユーザー名を表示します。

NIC の IP アドレス (検索結果フォルダーのみ)

デバイスを検出した NIC (ネットワークカード) の IP アドレスを表示します。

補足

- SSL 通信が行われている本機は IP アドレスの左側に が表示されます。
- 中国向けに販売されているモデルには SSL 機能は搭載されていません。

ビューボタン

デバイスリストの表示形式の切り換えができます。

マイデバイスへ登録する

デバイスツリーには、初期値として [検索結果]、[エラー]、[マイデバイス] の3つのフォルダーがあります。[検索結果] と [エラー] の2つのフォルダーは、固定され、編集やフォルダー名の変更はできません。[マイデバイス] フォルダーは、フォルダー名の変更やフォルダーの追加・削除・移動をすることができます。

検索結果フォルダー

検索により検出したデバイスを表示します。

エラーフォルダー

接続に失敗したデバイスを表示します。

マイデバイスフォルダー

デバイスを任意のフォルダーで分類、管理することができます。

フォルダーを追加する

- 1 フォルダーを追加したい親となるフォルダーを選択する。
- 2 マウスを右クリックし、表示されるメニューから [フォルダの追加] を選択する。
フォルダーが追加されるので任意のフォルダー名を入力してください。

デバイスを登録する

デバイスの登録のしかたには、以下の方法があります。

- ・「登録デバイスの追加」ダイアログで登録する
- ・ドラッグアンドドロップで登録する
- ・コピーアンドペーストで登録する

「登録デバイスの追加」ダイアログによる登録

- 1 デバイスを登録するフォルダーを選択する。

- 2 マウスを右クリックし、表示されるメニューから [登録デバイスの追加] を選択する。
「登録デバイスの追加」ダイアログが表示されます。



- 3 以下の項目を入力する。
デバイス名: 任意のデバイス名を入力します。
デバイスアドレス: 登録するデバイスのアドレスを入力します。通常は [シングルデバイス] を選択します。指定されたIPアドレスの範囲内に複数の本機がある場合は、[マルチデバイス] を選択します。
HTTP ポート番号: 通常は 80 を選択します。80以外を設定するときは、テキストボックスを選択し、ポート番号を入力してください。
HTTPS ポート番号: 通常は、443 を選択します。443以外を設定するときは、テキストボックスを選択し、ポート番号を入力してください。
プロトコル: デバイスと通信するプロトコルを HTTP、HTTPS から選択します。
デバイスアカウント: デバイスにアクセスする管理者のユーザー名を [管理者名] 欄にパスワードを [管理者パスワード] 欄に入力してください。

- 4 [OK] をクリックして、登録する。

ドラッグアンドドロップによる登録

検索結果フォルダーのデバイス一覧から登録したい機器を選択し、登録したいフォルダーにドラッグアンドドロップすると、デバイスが追加されます。

コピー／ペーストによる登録

検索結果フォルダーのデバイス一覧から登録したい機器を選択し、マウスを右クリックし表示されるメニューから【コピー】を選択（または【編集】メニューから【コピー】を選択）します。つぎに、登録したいフォルダーを選択し、マウスを右クリックし表示されるメニューから【貼り付け】を選択します。

デバイス／フォルダーの名前を変更する

名前を変更したいフォルダーまたはデバイスを選択し、マウスを右クリックし表示されるメニューから【名前の変更】を選択すると、デバイス／フォルダーネームが反転状態になります。その状態で新しい名前を入力してください。

デバイス／フォルダーを削除する

デバイス一覧またはデバイツリーから削除したいデバイス／フォルダーを選択し、マウスを右クリックし表示されるメニューから【削除】を選択（または【編集】メニューから【削除】を選択）します。

デバイス／フォルダーを移動する

以下のいずれかの方法が可能です。

- ・デバイス一覧／デバイツリーから移動したい機器を選択し、移動したいフォルダーにドラッグアンドドロップすると、デバイスまたはフォルダーが移動します。
- ・デバイス一覧／デバイツリーから移動したい機器を選択し、マウスを右クリックし表示されるメニューから【カット】を選択（または【編集】メニューから【カット】を選択）します。つぎに、移動したいフォルダーを選択し、【貼り付け】を選択します。

デバイス一覧の表示方法を変更する

リストに表示する項目を変更する

【表示】メニューから【カラムの設定】を選択すると、「カラムの設定」ダイアログが表示されます。



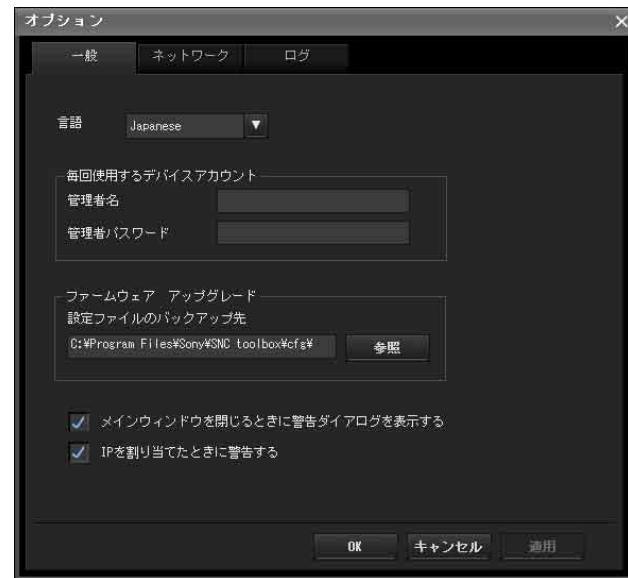
表示したい項目にチェックすると表示、チェックをはずすと非表示になります。

設定変更後に【OK】をクリックすると、設定がリストに反映され、メイン画面に戻ります。

SNC toolbox のオプションを設定する

【ツール】メニューから【オプション】を選択すると、「オプション」ダイアログが表示されます。このダイアログは、【一般】、【ネットワーク】、【ログ】の3種類のタブで構成されます。

一般タブ



言語

言語の設定をします。

毎回使用するデバイスアカウント

デバイスごとに、アクセスする管理者のユーザー名とパスワードの初期値を設定します。

ファームウェア アップグレード

ファームウェアアップグレードに関する設定をします。

【設定ファイルのバックアップ先】

: アップグレード時の設定ファイルの保存先を指定します。【参照】をクリックするとフォルダー選択ダイアログが表示され、保存するフォルダーを選択します。

【メインウィンドウを閉じるときに警告ダイアログを表示する】

: 警告メッセージを表示する場合に選択します。

【IPを割り当てたときに警告する】

: 警告メッセージを表示する場合に選択します。

ネットワークタブ



HTTP プロキシの設定をします。

HTTP プロキシを使用する場合は、[HTTP プロキシを使用する] をチェックします。
プロキシサーバーを自動検出する場合は、[自動検知] を [オン] にしてください。
自動検出しない場合は、[自動検知] を [オフ] にし、プロキシサーバーアドレスとプロキシサーバーポート番号を入力してください。

IP 設定

検索結果フォルダーで使用する IP アドレスを選択します。

[IPv4] : IPv4 を使用します。

[IPv6 優先] : IPv6 を使用します。ただし、IPv6 が設定されていないデバイスは IPv4 を使用します。

SSL 設定

SSL の設定を行います。

[毎回使用するクライアント証明書] : 使用するクライアント証明書を入力します。

[スケジュールされたタスクかメインウィンドウでの SSL エラーの処理方法] : [続ける] または [キャンセル] を選択します。

[デバイスの SSL 機能が SSL 接続のみの場合、HTTP プロトコルから HTTPS プロトコルへ自動的に接続する] : 必要に応じてチェックしてください。

ご注意

- SSL の設定を変更したときは、SNC toolbox を再起動してください。
- 中国向けに販売されているモデルには SSL 機能は搭載されていません。

ログタブ



一番古いログファイルを上書きする

ログファイルのサイズを設定する場合は、[有効] をチェックし、ファイルサイズの空き容量の最低限度を指定します。

ログ出力フォルダ

[参照] をクリックするとフォルダー選択ダイアログが表示されます。ログの保存先フォルダーを指定します。

ファームウェアアップグレードを使う

SNC toolbox のファームウェアアップグレード機能を使うとデバイスのファームウェアを更新することができます。

ファームアップグレード画面を表示する

- デバイスリストでファームウェアアップグレードをする機器を選択する。
複数の機器を同時に選択することもできます。
- マウスを右クリックして表示されるメニューから [ファームウェアアップグレード] をクリックする。
ファームウェアアップグレード画面が表示されます。



補足

[ツール] メニューの [オプション] にある [一般] タブで [設定ファイルのバックアップ先] が指定できます。

- [アップグレード開始] をクリックする。
アップグレードが始まります。

ご注意

- アップグレードを中止する場合は、[アップグレード中止] をクリックしてください。
デバイスを保護するために、アップグレードし始めたいいくつかのデバイスは、アップグレードが終了するまでアップグレードを中止することができません。
- デバイスがアップグレード後に再起動するまで電源を切らないでください。
- 本機に接続されたカメラをアップグレードする際には、本機をアップグレードしないでください。

補足

ファームウェアアップグレード画面は以下の方法で表示することもできます。

- [ツール] メニューから [ファームウェアアップグレード] を選択する

端末一覧

アップグレードをする機器を選択します。

アップグレード中にはプログレスバーが表示されます。

ステータス欄には、ステータスが表示されます。

モジュール一覧

モジュール一覧からアップグレードを行うモデルの右側の [参照] ボタンをクリックするとダイアログが表示されます。ダイアログから対象の SVU ファイルを選択します。

1つのモデルに対して1つのファイルを選ぶことができます。

アップグレードする

- [上]、[下] でアップグレードを実行するデバイスの順番を設定する。
- [参照] をクリックし、それぞれのモデルのアップグレードファイルを選択する。
- [同時実行数] で何台のデバイスのアップグレードを行うのか選択する。
- デバイスの設定をバックアップする場合は、[設定をバックアップ] をチェックする。

用語集

サブネットマスク

ネットワークを識別するため、IP アドレスのうち、上位の何ビットをネットワークアドレスに使用するかを決める 32 ビットの数値。

セカンダリー DNS サーバー

DNS サーバーの一種で、プライマリ DNS サーバーが利用できないときに処理を肩代わりするサーバー。

デジタル証明書

暗号を解除するための公開鍵の発行元が真正であることを証明するために、認証局が発行する電子証明書。

デフォルトゲートウェイ

所属するネットワークから他のネットワークへアクセスするときに経由する機器。

ネットワークアドレス

IP アドレスのうち、ローカルのネットワーク（サブネット）を識別するのに使われる部分。

プライマリー DNS サーバー

DNS サーバーの一種で、各機器や他の DNS サーバーからの問い合わせを優先的に処理するサーバー。

DHCP サーバー

Dynamic Host Configuration Protocol Server の略。固定の IP アドレスを持たない端末に自動的に IP アドレスを振り分けるプロトコル（DHCP）を使用して IP アドレスを割り振るサーバー。

DNS サーバー

Domain Name System Server の略。IP ネットワーク上の機器同士が接続する場合、接続相手の IP アドレスが必要であるが、数字の並びである IP アドレスでは相手を想像することが難しいため、相手に名前を付加し（ドメイン名）、それで相手を想像することを容易にするシステムが構築された。これが Domain Name System である。クライアント機器は、ドメイン名を使用して相手機器に接続するとき、DNS サーバーに問い合わせをすることで、相手機器の IP アドレスを取得して接続する。

HTTP ポート

Web サーバーとクライアント（Web ブラウザなど）がデータを送受信するときに使うポート。

IP アドレス

Internet Protocol Address の略。基本的にインターネットに接続する機器は、独自の IP アドレスが割り当てられている。

MAC アドレス

各 LAN カード 1 枚 1 枚に割り当てられている固有の ID 番号。

RS-485

米国の EIA(The Electronic Industries Alliance) によって標準化された、シリアル通信の規格。

SLOC

Security Link over Coax の略。

アナログコンポジットビデオ信号とデジタル IP 信号とを一本の同軸ケーブルで同時に送信できる技術。Intersil 社が開発。

SSL

Secure Sockets Layer の略。インターネット上で、暗号化した情報の通信を行うために、Netscape Communications 社が開発したプロトコル。

索引

い

イーサネット状態 17

か

カメラリスト 16

管理者 20

こ

工場出荷設定 15

さ

再起動 15

サブネットマスク 27

し

システム 15

初期化タブ 15

シリアル 16

シリアル番号 15

せ

セカンダリー DNS サーバー 27

セキュリティ警告 7, 9, 11

設定保存 16

設定メニュー 14

設定呼び出し 16

そ

ソフトウェアバージョン 15

て

デジタル証明書 27

デフォルトゲートウェイ 27

ね

ネットワーク 17

ネットワークアドレス 27

は

パスワード 20

パスワードの確認 20

ふ

ファームウェアアップグレード 25

プライマリー DNS サーバー 27

ま

マイデバイス 23

ゆ

ユーザー 20

ユーザー名 20

ろ

ログイン 14

C

Cancel ボタン 15

D

DHCP 6, 17

DHCP サーバー 27

DNS サーバー 27

H

HTTP ポート 27

HTTP ポート番号 6, 18

I

Internet Explorer 13

IP アドレス 5, 14, 27

IPv4 設定 17

M

MAC アドレス 17, 27

O

OK ボタン 14

R

RS485 通信速度 16

S

SLOC 27

SNC toolbox 21

SSL 18, 27

W

Windows 7 10

Windows Vista 9

Windows XP Service Pack 2 7

Windows ファイアウォール 8, 9, 11

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>